

NDS 環境だより Vol.13

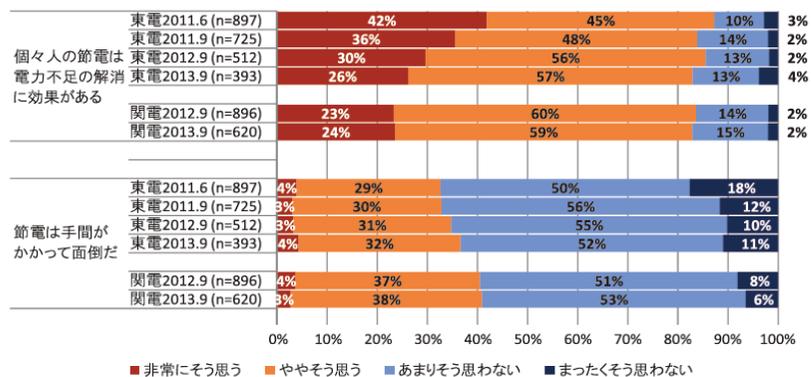
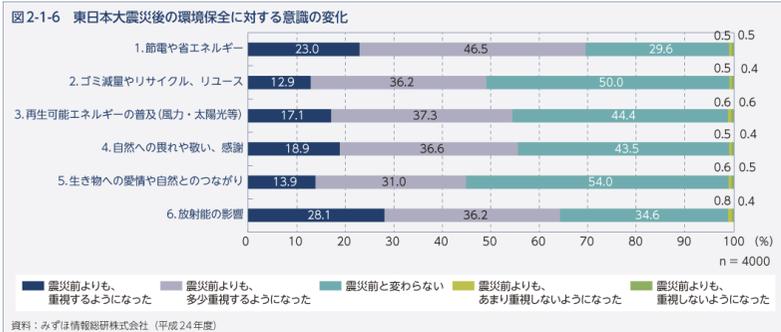
※「環境だより」とは、大阪エヌデーエスが環境への取り組みの一環として、社外の環境について好影響を及ぼす動きを展開することを目的とし、社員、パートナーの皆様のご家族向けに作成したパンフレットです。

今回のテーマ： 「電力 ～Part2～」

環境だよりVol.9にて「電力」について取り上げましたが、その直後に発生した東日本大震災を機に、電力を取り巻く状況は大きく変わりました。地震の影響を受けた福島第一原子力発電所のほか、全国16ヶ所ある原子力発電所は現在すべて停止しています。エネルギー資源に乏しいわが国で、いま、私たちがすぐにはできることは、個人個人の意識を高め、節電に努めることではないでしょうか？今回はそのことについて検証してみました。

💡 節電意識の変化

節電への意識にどれほどの変化があったのでしょうか。環境白書(平成25年度版)をみると、「節電・省エネルギー」「放射能の影響」に対する意識の変化が多く生じたことが分かります。



東日本大震災直後は、原発事故を受けて節電への意識が一気に高くなりました。そして、4年を経過した現在でも節電への意識は高く、また、節電に対する行動も定着してきているようです。続いて、エネルギー使用量の変化を見ていきましょう。

💡 エネルギー使用量の推移

節電意識の変化が実際にエネルギー消費量の変化にどのくらい影響したか、統計資料を調べました。震災後に、エネルギー消費量が減少しているのがわかります。

エネルギー源別最終エネルギー消費の推移(2013年度速報)(単位:10¹⁵J [PJ])

年度	2010	2011	2012	2013
石炭	1,726	1,655	1,691	1,709
石油	7,471	7,288	7,168	7,064
天然ガス	67	68	69	70
都市ガス	1,451	1,487	1,475	1,434
電力	3,586	3,364	3,297	3,308
熱	647	631	612	606
再生エネ	26	37	35	36
使用総合計	14,973	14,529	14,349	14,227

部門別最終エネルギー消費の推移(2013年度速報)(単位:10¹⁵J [PJ])

年度	2010	2011	2012	2013
民生部門(家庭)	2,154	2,063	2,047	1,986
民生部門(業務)	2,815	2,874	2,871	2,926
合計	4,969	4,937	4,917	4,912

家庭部門＝最終エネルギー消費のうち、家計が住宅内で消費したエネルギー消費を表現する部門。
業務部門＝第三次産業(水道・廃棄物・通信・商業・金融・不動産・サービス業・公務など)に属する企業・個人が、事業所の内部で消費したエネルギー消費などを表現。

一次エネルギー国内供給の推移(2013年度速報)(単位:10¹⁵J [PJ])

年度	2010	2011	2012	2013
石油	8,829	9,122	9,222	9,023
石炭	4,982	4,654	4,864	5,250
天然ガス	4,232	4,926	5,097	5,088
原子力	2,495	885	139	81
水力	712	724	658	678
再生可能・未活用	818	842	841	892
合計	22,067	21,154	20,821	21,012

💡 大阪エヌデーエスでの取り組み

オフィスでは、EMSを導入した2004年から節電に対する取り組みを続けています。空調の温度設定(室内温度がおよそ冷房時28度、暖房時20度)や不要箇所の照明をOFFにする、離席時のパソコンふた閉じ・休止状態やスリープモードの設定など、様々な場面で取り組んでいます。

大阪エヌデーエスの電力使用量(単位:kwh)

年度	2003	2010	2011	2012	2013
合計	88,020	52,240	51,610	51,568	53,355

また、2012年度より身近なエコへの取り組みとして、マイecoプランを始めました。これは、家族と一緒に目標を決めて、各個人がeco活動を行うものです。節電に関する目標も多く挙げられていました。

キーワード: エネルギー削減、CO2削減

【地球温暖化防止】—みんなで節電アクション

- ①こまめにスイッチオフ!
- ②待機電力を節電!
- ③エアコンで節電!
- ④冷蔵庫で節電!
- ⑤照明で節電!
- ⑥テレビで節電!

今年度の人気目標

適温

意外に多かった消費電力

E00として無駄な電気を使わないようにされている方も多いかと思いますが、私も無駄な電気を使わないことに越したことはないという思いから、あまり電気を使わないようにして過ごしております。しかし、「どうせ日本の総消費電力から考えたら全部の家庭をあわせても1.5割くらいなので、あまり効果がないんじゃないかな」とも考えておりました。



今回の記事作成がよい機会でしたので、消費電力に関していろいろと調べてみました。すると、思いもよらないことがわかってきました。

1点目として、意外に多い日本の総消費電力に対する家庭の消費電力です。私の予想とは異なり、実際には約3割もの電力を使っておりました。ちなみに企業などの業務系は約4割の電力を使っておりました。

2点目として、大物家電が占める消費電力の割合です。電気冷蔵庫・照明・テレビ・エアコンの計4つだけで消費電力のうち4割を占めております。また、多くないと思われがちな待機電力だけで、全体の5%を占めておりました。



以上のことから家庭の消費電力を抑えるだけで、思っていた以上に効果があるものと分かりました。

ちなみに私が行っているE00は「暖房を使わない!」です。いくら寒くても自前の防寒装備や毛布などで、毎日過ごしております。私の行っているE00は極端な例ですので参考にならないと思いますが、これで約一割弱の消費電力カットになります。(エアコンの消費電力は全体の約7%を占めております。また電気ストーブなども使っておりませんので大体1割に届くのではないかと思います。)

意外と多い家庭の消費電力を顧みてまだまだ削れるところがありそうだなと思いました。皆さんも省エネ家電を揃える・無駄になる待機電力をカットするなどの「無駄な電気を使わない」ことについて出来る事を考えてみてはいかがでしょうか? 2014年12月号 (No. 112) 掲載

よしぞい我が家はグリーンカーテン

夏の消費電力をおさえる工夫みなさん色々試されていると思います。この時期室内に直射日光が入らないように軒先によしぞい(葦簾)、窓の外にすだれ(簾)を使ってる家庭を見かけます。私の家でも前はベランダによしぞいを使っていました。ただここ最近グリーンカーテンに変えました。

日よけ効果が期待できるグリーンカーテンですが見た目も涼しい。さらに少量の水をグリーンカーテンに打ち水して扇風機で風を起こすとマイナスイオンが堪能できます。殆ど思い込みですが。



用意するものは、大きめのプランター、培養土、つる科の苗株(種でも)、園芸用ネット、あとは1日1回水をあげる程度の世話で済みます。

筆者のキュウリとヨルガオは上に真っすぐに育たず主に似てあっち行ったりこっち行ったりして本当に面倒が掛かります。

2014年05月号(No.105)掲載

■編集後記■

東日本大震災後、我々一人ひとりの意識が大きく変わったことが改めて分かりました。現在、原発は点検を含めてすべて停止しており、厳しい電力供給状況です。火力発電が増加しているとはいえ、大きな問題なく普段の生活が送れているのは意識だけでなく行動も伴っているからだと思います。みんなが知恵を出し合い、工夫し、節電に協力していることの証ですね。



大阪エヌデーエスもISO14001取得後、環境に対する意識が少しずつ変わっていきました。今ではそれが大きな成果に繋がっていることは電力の使用量が2003年度と比べて40%も削減できていることでも分かります。今回の環境だよりが皆さんの更なる意識改革や、新たな気づき、行動に役立ってくれば良いなと願っています。

※掲載した内容は、以下のデータ・ホームページを参考にさせていただきました。

■環境省 環境白書(平成25年版)

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h25/index.html>

■みずほ情報総研 生活者による節電は定着するか―「節電に関する行動・意識調査」の結果から―

http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/report/2014/mhir07_setsuden.html

■経済産業省 平成25年度(2013年度)エネルギー需給実績(速報)

http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/total_energy/results.html

『環境だより』に関するご意見、ご感想がございましたら下記へお寄せください。
ISO委員会: ems@nds-osk.co.jp

編集発行人: ISO委員会
発行年月: 2015年3月